

令和8年度の事業について

内水対策

令和5年9月8日の大雨と同規模の降雨に対して、浸水被害ゼロを目指し、床上浸水被害への対策から取り組みます。

内水対策関連事業では、鷲巣稻荷前水門、酒盛橋樋管、準用河川乗川および小林樋管について、内水対策基本計画の策定に取り組んでいます。

また、藤根排水機場について、排水能力の増強に向けた詳細設計を進めています。



▲藤根排水機場

河川改修事業

河川改修事業では、八幡原地先の準用河川鹿島川において、流下先の二級河川一宮川の堤防と比較して高さが低くなっている区間の堤防の高上げ工事を予定しています。

また、早野地先の準用河川梅田川における第2石川橋の架け替え工事については、引き続き、早期完成に向け取り組みます。



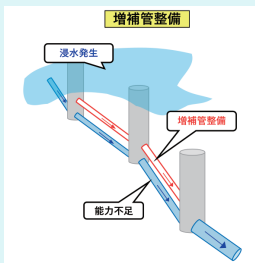
▲準用河川鹿島川

下水道事業

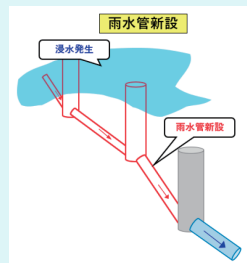
下水道事業における浸水対策では、昨年度から実施している八千代地区の増補管整備工事が今年度完成予定となっています。高師地先においては、雨水管の新設工事や浸水対策施設詳細設計を予定しており、町保地先では基本設計を実施する予定となっています。

この他、浸水シミュレーションにより、内水被害が多く発生すると判断された地区では、浸水対策の検討を実施します。

上記の事業と並行し、雨水管理総合計画の見直しや、浸水地区の雨水排水施設（雨水樹や側溝）の適正な管理を行うことで、浸水被害の軽減に取り組みます。



▲増補管イメージ図



▲雨水管イメージ図



▲八千代地区の増補管整備工事

ため池・準用河川等の^{しゅんせつ}浚渫

農業用ため池の貯留機能を最大限発揮させるため、上永吉地先に位置する八幡湖の浚渫を行うとともに、農業用排水路である内谷川東郷支線排水路および新川排水路の浚渫を実施し、河川への負担軽減を図る予定です。

準用河川については、今年度、準用河川乗川の浚渫を予定しています。また、法目地先の排水路の浚渫および大芝地先の調整池の浚渫を予定しています。



▲準用河川乗川



▲法目地先排水路



▲大芝調整池

問合せ 土木建設課 (7階) ☎(20)1536 FAX(20)1605

※次回の掲載は、令和8年8月15日号を予定しています。